



宗谷地方は厳冬期に入り、1月下旬から2月上旬にかけて最も寒さの厳しい時期になります。この時期、耳にする言葉として、いかにも寒そうな「冬日」「真冬日」という言葉があります。

日最低気温が0℃未満の日を「冬日」といい、日最高気温が0℃未満の日を「真冬日」と呼んでいます。平年値によれば、宗谷地方の1月、2月はほとんどが冬日で、約20日以上真冬日となります。

この時期、よく晴れて風も弱く気温が下がった朝には、内陸部を中心に空気中に含まれる水分が凍りついて結晶となりダイヤモンドのようにキラキラ輝く「ダイヤモンドダスト（細水）」や、海岸部では陸から海に流れ出た冷たい空気と比較的暖かい海水温の差によって海上に低い霧ができる「けあらし」など、冬ならではの景色も楽しめます。

一方、風の強いときは降雪を伴ったり積もった雪が舞いあげられて地ふぶきとなり視界が悪くなることがあります。また、冷え込みの強いときには体調管理や水道の凍結に十分な注意が必要となります。

宗谷地方の厳冬を安全に過ごすため、毎日の天気や気温、風の予報を参考にしてください。

※稚内地方気象台ホームページアドレス <http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/>

※問合せ先 稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

平成28年度 全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」のお知らせ

北海道教育委員会では、「平成28年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づき、道内各市町村の状況及び学力向上策を北海道教育委員会義務教育課のHPに公表しています。

パソコン等で閲覧できない場合は、担当までお問い合わせください。

URL： <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/gks/gakuryoku28/top.htm>

問合せ先：幌延町教育委員会 総務学校グループ 電話：5-1117 告知端末機：5-8817

地域おこし協力隊通信

vol.14

地域おこし協力隊の若月です。

あけましておめでとうございます。

今年も幌延町の観光振興に尽力していきますので、よろしく願い申し上げます。

すっかり冬景色になりましたが、体調はいかがですか？

地域おこし協力隊主催で、11月27日(日)に幌延町内を巡るモニターバス+キハ(列車乗車)ツアーを開催しました。町内外から参加していただき幌延町内の『オトンレイ風力発電所』・『下沼湧水』・『秘境駅』・『トナカイ観光牧場』などの観光名所を巡りました。

岩川副町長の幌延町歴史ガイドで、参加者は、幌延の新発見に感銘を受け、隊員としても知識や話し方など大変勉強になりました。

地域おこし協力隊は、青柳隊員の秘境駅ガイド、丸田隊員のトナカイガイド、わたくしの下沼湧水ガイドとそれぞれ担当して皆様に幌延町の魅力をお伝えすることができました。

『オトンレイ風力発電所』では、参加者の方から「近くで見ると迫力がある」「オトンレイ風力発電所のミニチュアを作ったら売れそう」、『下沼湧水』では、「おいしい」などの声をもらいました。

『トナカイ観光牧場』で昼食を取った後、「トナカイのエサやり体験」や「子供のトナカイ」を見て回りました。参加者からは、「今度、子供を連れて遊びに来る」と言ってもらえました。

『秘境駅』では、全6駅を巡り駅舎を見学して頂き、「レトロで良い」「歴史を感じる」などの感想をもらいました。

このバスツアーをきっかけに、幌延町を訪れる観光客が少しでも増えていただけたらなと思っています。また、テレビ局と新聞社の取材を通して広く幌延町をPRできたのかなと思います。

幌延町には、魅力的な観光資源があるので、磨いていくと光り輝くと感じています。



トナカイ観光牧場の様子